

おとさぽ講座担当講師

北村成美 Shigemi-Kitamura

ダンサー、振付家。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに、ミュージカル、オペラ、演劇など振付演出。障害のある人となない人が共に踊る「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを務める。

【わたしのダンス、みんなのダンス 強制も矯正もしない共生する舞台づくりを目指して】後期

古儀裕子 Hiroko-Kogi

日本音楽療法学会認定音楽療法士。保育士と並行して音楽療法の実践を重ね、現在は個人セッションを中心に活動中。

【音楽療法研究 ケーススタディ】後期

【音楽療法実践 個人セッション体験】後期

高石公資 Kouji-Takaishi

自閉的な児童（発達障碍児）を中心に、クライアントとセラピストのお互いの人間関係の密度を高めることを念頭に個別音楽療法を実践している。

【先人に学ぶ-山松質文の考えを中心に来談者中心について語る】後期

【発達障碍（自閉症児）に対しての個別音楽療法の実践】後期

佐々木利枝 Hisae-Sasaki

（有）ライフ・アシスト内 京田辺市委託 こどもと家族の相談室ミモザ 子育て支援員（社会福祉士・精神保健福祉士）

【障害児者の生活・支援】前期

宝田美子 Yosiko-Takarada

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒、滋賀大学大学院修了、日本音楽療法学会認定音楽療法士、現在は自宅で33年音楽教室を主宰し、平行して高齢者の生涯音楽教育の研究も行う。

おとさぽでは、特別支援ピアノレッスンを担当

【特別支援ピアノレッスン1】前期 【特別支援ピアノレッスン2】後期

中川亜希 Aki-Nakagawa

福祉施設で出会った自閉症の方たちに強く惹かれて、発達心理学、臨床心理学を学びました。今回、共に人の奥深さを感じられたらと思います。

【発達心理学的視点から子どもを理解する】前期

【障害や特性について】前期

【臨床心理学的に子どものテーマをとらえる】後期

水上恵美 Emi-Mizukami

日本音楽療学会認定音楽療法士。滋賀大学在学中に音楽療法と出会い、山松質文氏主宰の音楽療法研究会で実践実習。その後障がいがある子どもを中心に実践を重ねている。京都音楽院講師。ボイストレーナーとしても活動している。

- 【音楽療法概論】前期
 - 【身体・声Ⅰ】前期 【身体・声Ⅱ】後期
 - 【グループ音楽療法】前期
 - 【個人音楽療法】前期
 - 【音楽療法実践 グループセッション】後期
 - 【音楽療法実践 個人セッション体験】後期
 - 【重度心身障害児(者)の音楽療法】後期
-

八木美砂子 Misako-Yagi

日本音楽療学会認定音楽療法士。音や言葉が音楽に変わる瞬間が気になる。音楽の原点を求め、西アフリカにて吟遊詩人のそばで2年半過ごし、生活の中にある生きた音楽を浴びる。

- 【音楽療法で用いる楽器について】前期
 - 【音楽理論-鍵盤を用いた実践的奏法】前期 【音楽理論-鍵盤を用いた実践的奏法-2】後期
 - 【打楽器を用いた即興表現】前期
 - 【鍵盤楽器を用いた即興】後期
-

山本知香 Chika-Yamamoto

日本音楽療学会認定音楽療法士。京都国際音楽療法センター音楽療法指導員。「お互いが無理なく共に居ること」を大事に音楽療法の実践に携わっています。

- 【音楽療法研究 アセスメント・記録】前期
 - 【音楽療法研究 文献購読】前期
 - 【音楽療法研究 関係発達論】前期
 - 【音楽療法研究 質的研究】前期
-

ロビンロイド Robbin-Lloyd

イリノイ州（USA）出身。4歳からドラム、7歳からギターを始め、民族音楽（ワールド・ミュージック）を中心に学び、奏で、教えることに人生をかけてきた。大学卒業後、アジアを拠点に活動。50カ国以上を旅し、多くのミュージシャンと共に音楽を楽しむ。

- 【パーカッションで遊ぼう】後期
-